

登録コード	E2140900	開講年度	2026				
授業科目	人文地理学				担当教員	内山 琴絵	
英文授業名	Human Geography				副担当		
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	木曜・4時限	対象学生	2～4年生
講義室	教育M301講義室		授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				【授業の達成目標】		
	26Eカリ, 25Eカリ, 24Eカリ, 23Eカリ, 22Eカリ, 21Eカリ, 20Eカリ						
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観				人文地理学を構成する諸分野において現代社会が直面する問題にどう向き合ってきたのか、具体的な事例や研究方法に基づき説明することが出来るようになる（達成目標）		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能				地域性・地域差について理解を深めながら、身近な現象について様々なスケールで捉え、世界とのつながり・関係を想像し説明することが出来るようになる（達成目標）		
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	地理学では、地表でみられる現象を幅広く扱う。本講義では、人文地理学的視点から環境・地域・空間というキーワードで世界を読み解いていく。具体的には、人文地理学の基礎的な理論や概念を概説し、ある場所や地域に見られる現象の特徴、その発現パターンを明らかにする。さらにその現象が生み出される社会的・経済的・文化的なメカニズムについて理解することを目指す。						
(5)授業計画	第1回：イントロダクション 授業概要、到達目標の説明 第2回：人文地理学の基礎概念 地域・場所・自然・環境とは？（概念とその説明） 第3回：生産の地理 どこで何がどのように生産されるのか？（工業立地論、産業集積論） 第4回：流通の地理 どこで何を買うか？（流通システム） 第5回：生活行動の地理 時間・空間から考える人々の行動（時間地理学、ライフコース） 第6回：都市の地理 都市とはいかなる場所か？（居住地域構造、都市構造、人口移動） 第7回：村落の地理 いま、農村とはどのような場所か？（農村社会変動） 第8回：社会・福祉の地理 「安心・安全なまち」とは？（社会における包摂と排除） 第9回：知覚・行動の地理 頭の中の地図と「現実」の地図（メンタルマップ、都市イメージ） 第10回：生活文化・民俗の地理 社会の変化と文化の変化（環境論、民俗の創出と伝播） 第11回：不平等の地理 なぜ不平等なのか？（地域間格差、社会的不平等） 第12回：民族・移民の地理 人々はどこから来て、どこに集まるのか？（外国人労働者、移民） 第13回：災害の地理 いかに災害と向き合っていくか？（自然災害、防災、災害復興） 第14回：総括 これまでの講義のまとめ、授業アンケート実施 第15回：定期試験 教育実習による欠席分の補講は、課題提出等で対応する。						
(6)成績評価の方法	・授業の達成目標 の到達度を測る期末試験 70点 ・授業の達成目標 の到達度を測る講義中レポート 30点						
(7)成績評価の基準	授業で課す課題と同レベルの問題が解ければ可。応用問題が解ければ良。やや難しい応用問題が解ければ、優。課題だけでは難しい応用問題がとければ秀。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀,89-80% 優,79-70% 良,69-60% 可,59%以下 不可。						
(8)事前事後学習の内容	この授業は90時間の学修を必要とする内容であるため、60時間以上の時間外学習が必要となる。毎回の講義開始時に、前回の講義に寄せられた意見・質問への回答をおこなう。したがって、講義開始前に前回の内容の復習を各自しておくこと。						
(9)履修上の注意	パワーポイントを用いた講義形式で授業を進める。補助的に、メディア、映像資料を使用する。						
(10)質問、相談への対応及び連絡先	相談は随時受け付ける（講義終了後またはM317）。授業時間以外であれば事前にメールでアポイントを取ること（uchiyama_kotoe@shinshu-u.ac.jp）。						
【教科書】	教科書は使用しない。 各回の講義に関連する参考文献・参考資料を掲載したリストを毎回配付する。						
【参考文献】	竹中克行編著（2022）『人文地理学のパースペクティブ』ミネルヴァ書房						